

(2/29 2022)

# 遠山・公明元議員ら在宅起訴

## 無登録でコロナ融資を仲介

公明党衆院議員の秘書らをめぐる資金業法違反事件で、東京地検特捜部は28日、融資仲介を無登録で繰り返していったとして、元財務副大臣の遠山道彦・同党元衆院議員(52)ら4人を同法違反(無登録)罪で在宅起訴しました。

訴しました。→小池龍記局長の会見②・関連①面  
他に在宅起訴されたのは、太田慶壽・同党前衆院議員の波谷朗元政策秘書(61)、太陽光発電関連会社「テクノシステム」の牧厚元顧問(74)、川島裕元相談役(78)。

売り上げが減少した企業などへの日本政策金融公庫の融資を計一の88回仲介したとされます。このうち遠山元議員は、翌年3月ばかりです。

今年6月まで、82回の仲介を単独で行っています。4人とも起訴内容を認めています。

遠山元議員の元秘書2人について特捜部は、同法違反助の疑いがあるとみて捜査しましたが、従属的関係者によると、牧元顧な立場だったため、28日付で不起訴処分(起訴猶予)としました。

遠山元議員は、緊急事態宣言下に高級クラブを訪問したことが発覚し、今年2月に衆院議員を辞職しました。



遠山元議員

議員らは2010年6月から今年6月までの間、貸金業の登録を受けずに、新型コロナウイルスの影響で

問題は企業から依頼を受けた後、遠山元議員を通じて元秘書の2人に、川島元相談役は波谷元秘書とそれ

の謝礼を受け取ったといいます。牧元顧問はこれまでの取材に対し、「顧問先約35社、延べ100件の融資を仲介した。遠山元議員個人に毎年約500万円の政治献金をしたが、仲介の謝礼ではない」と話していました。遠山元議員側は謝礼を受け取ったことは認める一方で、「個人や政治団体担当者を紹介するよう頼んでいました。太田前議員は事務所として受け取った」と主張しているところです。

川島元相談役は取材に、仲介手数料の受領を認め、「波谷元秘書に現金で渡していた」と話しました。遠山元議員は、緊急事態宣言下に高級クラブを訪問したことが発覚し、今年2月に衆院議員を辞職しました。

12/29 木

# 遠山元財務副大臣 在宅起訴

# コロナ対策 食い物に

## 資金業法違反事件

公明党元衆院議員の遠山清彦元財務副大臣(52)と同党の太田昌幸前衆院議員の元政策秘書らが、資金業の潜規をせず日本政策金融公庫の融資を仲介した資金業法違反の罪で東京地檢特搜部に在宅起訴されました。仲介したのは新型コロナウイルスの拡大で苦しむ企業向けの特別融資。与党議員らがコロナ対策を食い物にした構図であり、公明党の責任も問われています。

起訴状によると遠山被告は

所管金融機関に

口利き依頼

仲介料

口利き

牧厚被告

牧被告へ遠山被告はしなな

関係なのか。関係者は「両

はもともと幅広い付き合

い。システムは社長が詐欺

謝れを得ていたとされます。

介してほしいと頼まれるとか

テクノシステムは社長が詐欺

謝れを得ていたとされます。

プラットな付き合いがあ

ります。

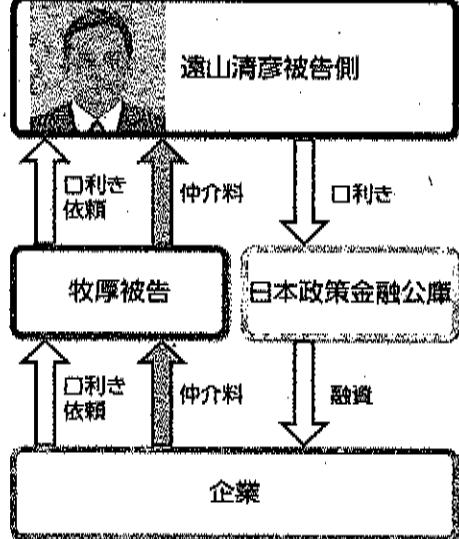
原告は「仲介したのは、

企業

です。

元公明衆院議員・遠山清彦被告

資金業法違反事件の構図



## 問われる公明党の責任

新型コロナ禍の上昇が減少しました。した企業などに向けた日本政策金融公庫の特別融資。2020年3月から今年6月までの計11回仲介。計1000万円の謝礼を得たとされます。遠山被告は、安倍政権下の19年9月13日から20年9月16日まで財務副大臣でした。同公庫は財務省が所管する政府系金融機関のひとつ。所管省庁の副大臣として立場の時も、口利きをして謝礼を得ていました。

さらに太田前衆院議員の元

政策秘書の森谷朗被告(61)もテクノシステム元相談役の川島裕被告(78)からの依頼をうけ、87回の仲介をしたとされます。

公明党内の複数ルートで、コロナ禍で苦しむ企業を食べ物にした構図です。

### 仲介料の用途

遠山被告は1999年に創価大学を卒業。01年に公明党から参院議員に初当選し、10年には衆院議員に、「公明党のアシスタント」とも呼ばれる、次世代のリーダーのひとりと目されていました。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が出されていた今年1月に銀座のクラブで深夜まで滞在していたことが発覚し、議員辞職に追い込まれて

いました。

ある検察担当記者は「検察は遠山被告が仲介で得た金を銀座のクラブ通いで使ったと聞いています。ただ仲介で得た資金の用途が明らかにならないとは限りません。

資金業法違反事件の公判では、一体どのように口利きをみていた」と語っています。ただ

公明党は「清潔な政治をリード、企画献金、口利きにメス、結婚以来、勝敗闘争に続ける」などと衆院選に向けた政策解説をうたってきました。しかし資金業法違反事件について、山口那津男代表は「捜査の行方を見守りたい」(公明新聞11月17日付)といふばかり。同党の国會議員、政策秘書がかかわっていないにもかかわらず、説明責任を果たしていない状況です。

99年に公明党が国民党と連立政権を組んで以降、同党の国会議員経験者が特搜部に摘発されたのは初めてです。元官房長官の秘書は与党になって公明党が変わったとしてこう指摘します。

立政権を組んで以降、同党の国会議員経験者が特捜部に摘発されたのは初めてです。元官房長官の秘書は与党になって公明党が変わったとしてこう指摘します。

「公明党のある秘書は与党になったとき、上層部の首領がぐるようになりたと嘗んでいた。与党となつて公明党の権力志向が強まつた。今回の事件はそんな中で起きた